

**日本機械学会バイオエンジニアリング部門
第102期第3回 運営委員会 議事録**

日時： 2024年12月13日（金）16:00～18:00

場所： アットビジネスセンター横浜西口駅前 601 室，ハイブリッド開催

出席者： 石川 拓司（部門長，国際ジャーナル委員長），中村 匡徳（副部門長），藏田 耕作（部門幹事），菅原 路子（総務幹事），坂元 尚哉（企画委員長），村越 道生（企画幹事），佐藤 克也*（広報委員長），荒平 高章*（広報幹事），須藤 亮*（渉外委員長，国際ジャーナル幹事，BE37 講演会委員長），牧 功一郎（次世代委員長，渉外幹事），山下 忠紘（次世代幹事，BE37 講演会幹事），杉田 修啓，倉元 昭季（前・次世代幹事），藤崎 和弘*（BF36 講演会委員長），矢野 哲也*，寺島 正二郎*，築谷 朋典*，比嘉 昌*，田地川 勉*，岩崎 清隆*，吉野 大輔*（学会出版委員），松田 勇*，正本 和人*（技術ロードマップ委員），亀尾 佳貴*，葭仲 潔（ISO・JIS・学会基準委員），曾根原*（機械学会）

欠席： 東藤 正浩（総務委員長），世良 俊博（分野連携委員長），大橋 俊朗（年次大会 2025 担当），百武 徹（BF35 講演会委員長），馬場 創太郎，坂井 伸朗，松田 昭博（SHD 部門）

アドバイザーボード出席者： 安達泰治*，中西義孝*

[資料]

- 102-3-00 第102期第3回運営委員会 議案
- 102-3-01 第102期第2回運営委員会 議事録
- 102-3-02 次期副部門長選挙結果報告
- 102-3-03 次期部門代議員（関東，中国四国，北陸信越）の推薦について
- 102-3-04 2024年度事業報告書案
- 102-3-05 JSME「機械工学年鑑」2025 執筆者
- 102-3-06 WCBにおけるJSMEセッション企画
- 102-3-07 2024年度決算見込および2025年度部門予算案
- 102-3-08 2024年度第1回ISO・JIS・学会基準委員会議事録
- 102-3-08 付録 METI 表彰推薦者候補検討データシート

[審議・承認事項]

1. 部門運営・構成関係

(1) 第102期第2回運営委員会 議事録 [藏田 部門幹事] [資料 102-3-01]
メール審議で議事録が承認され，部門 HP で公開済みであることが説明された。

(2) 次期副部門長選挙結果報告 [選挙管理担当 中西 前部門長，菅原 総務委員会幹事] [資料 102-3-02]
選挙管理担当の菅原 総務委員会幹事より，候補者の推薦と第1回投票，第2回投票を経て，次期副部門長として東藤正浩先生（北海道大）が選出されたことが報告され，内容が承認された。

(3) 次期部門代議員（関東，中国四国，北陸信越）の推薦について [石川 部門長] [資料 102-3-03]

関東、中国四国、北陸信越では代議員の選出が、例年、各部門に委ねられている。三役で協議して選出した関東支部 13 名、中国四国支部 2 名、北陸信越支部 2 名のリストが諮られ、承認された。候補者からはすでに内諾を得ている。JSME 本部への提出は 12 月 23 日（月）締切。

なお、代議員は部門の運営委員候補者としての資格を有しており、主たる任務は、部門事業を積極的に支援していただくこと、部門長または副部門長を選挙により選出していただくこと。

(4) 2024 年度事業報告書について [藏田 部門幹事] [資料 102-3-04]

11 月 1 日に JSME 本部から 2024 年度事業報告書（2024 年 3 月～2025 年 2 月末の部門活動における特記事項を簡潔にまとめたもの）の作成依頼があった。部門三役と各委員長で協議して作成した報告書の内容について諮られ、承認された。JSME 本部への提出は 1 月 14 日（火）締切。

(5) JSME「機械工学年鑑」2025 執筆者について [藏田 部門幹事] [資料 102-3-05]

11 月 1 日に JSME 本部から「機械工学年鑑」2025 の執筆者選出依頼があった。部門幹事会で作成した案が説明され、承認された。執筆者候補は次の通り。

- ・執筆代表者：石川拓司 部門長（東北大）→内諾済み
- ・筋骨格のバイオメカニクス：田原大輔 先生（龍谷大）
- ・循環器のバイオメカニクス：氏原嘉洋 先生（名工大）
- ・リハビリテーション工学・福祉工学：比嘉昌 先生（兵庫県立大）→内諾済み
- ・治療機器：森田実 先生（山口大）
- ・遺伝子工学・バイオインフォマティクス：牧功一郎 先生（京都大）→内諾済み

今後、執筆者から内諾を得て、JSME 本部へ提出する。提出は 1 月 14 日（火）締切。執筆者には 1 月下旬に JSME 本部から執筆に関する連絡がある。原稿提出締切は 2025 年 4 月 14 日（月）。

参考資料（2024 年度電子版）<https://www.jsme.or.jp/kikainenkan2024/>

補遺：運営委員会翌日、田原先生は 2018 年に執筆してくださったことが分かり、田原先生より倉元昭季先生をご推薦いただいた。同日、倉元先生から内諾を得た。

(6) WCB における JSME セッション企画について [須藤 渉外委員長] [資料 102-3-06]

2026 年 7 月 11 日（土）～15 日（水）に Vancouver (Canada) で 10th World Congress of Biomechanics が開催される。その中の JSME セッションに関して渉外委員会において検討された内容が説明され、承認された。要旨は次の通り。

- ・前回大会（WCB2022）では 90 分の Award セッションを企画し、招待講演 2 件と若手受賞者の講演 6 件が行われた。13 会場平行で行われるので集客が難しい。
- ・今回大会では 1 セッション 60 分の割り当てである。渉外委員会での議論の結果、若手研究者を表彰するメリットは大きいので、4～5 名の若手を表彰するセッションとしたい。
- ・日本人以外の集客を増すため、そして日本人の内輪のセッションではないことを示すために、セッション名に「for International Collaboration」を追加して、「JSME-BED Outstanding Young Researcher Presentation for International Collaboration」としたい。
- ・応募対象者は、博士課程の学生と博士の学位取得後 5 年以内の若手研究者（5 名以内）。
- ・投稿された Abstract に基づいて選考し、当該セッションでの口頭発表者に選出する。選出方法は渉外委員会での検討する。

さらに、石川 部門長より本セッションの背景と位置付けについて、次のような補足説明があった。

- ・バイオエンジニアリング部門は日本機械学会の中にある部門だが、国際的なアソシエーションの中にも入って活動している。

- ・アジア地域には Asian-Pacific Association for Biomechanics (APAB) があり、ここが AP Biomech という国際会議を 2 年に 1 回ずつ開催している。
- ・APAB はさらに世界的な組織の World Council of Biomechanics (WCB) に入っており、そこで European Society of Biomechanics (ESB) などと一緒に 4 年に 1 回の国際会議 World Congress of Biomechanics, つまりバイオメカニクスの世界大会を開催している。
- ・ESB は WCB と MOU を交わしており、World Congress of Biomechanics に重ねて会議をやるなど積極的に一緒に活動しているが、APAB の AP Biomech 2025 は WCB と開催年をずらして開催する。
- ・APAB では World Congress of Biomechanics の 2~3 セッションをもらって企画している。日本機械学会独自で必ずしもやらなければいけないわけではないが、日本のプレゼンスを見せるために前回は Award セッションを企画した。今回も先方と掛け合って、1 セッション枠をいただいた。

(7) BE, BF 講演会の開催形式について [石川 部門長]

石川 部門長より講演会の開催形式について共通認識を得るために説明があった。

- ・バイオエンジニアリング部門では 2~3 年前の運営委員会において、コロナ禍以降、原則ハイブリッドで講演会を開催することが合意されている。
- ・これを受けて、BE 講演会（部屋数は 2~3 部屋）ではこれまで全てハイブリッドでやってきた。外国人研究者が海外から講演することもあった。ただし、ポスターセッションは対面のみ。
- ・一方で、BF 講演会では、会場が地方であり、部屋数が多く、一つの大学の限られた実行委員で運営していることから、ハイブリッドの開催が難しいこともある。実行委員長から対面だけでお願いしたいという要望があれば、現地のやりやすい方法でやってもらってきた。
- ・ハイブリッド開催は、さまざまなライフイベントで対面参加できない会員には恩恵だが、それを全て現地実行委員会で調整していただくのは難しく、恩恵と負担のバランスを考える必要もある。
- ・BE を都市で開催、BF を地方で開催してきたが、BF の方が逆に大変ということもあり、もう少し柔軟に、開催できるところでやっていく方がいいのではないかと考えている。

この説明に対して、次のような意見が出された。

- ・JSME 本部から講演会をハイブリッドでやるように要望があったのか？
→ 正式な要望が出ているわけではない。
- ・ハイブリッド機材を現地で準備するのが大変なので共通の機材があるといい。
→ 部門共通のプラットフォームがあるといいが、会場によって状況がだいぶ異なる。
→ (曾根原さんより) JSME 本部では十分な数がないので、基本的には講演会でレンタルしてもらっている。年次大会でもすべての部屋がハイブリッドというわけではない。将来的にどうするのか、年次大会のあり方が本部の委員会で話されていて、その方向性が決まってからの話になる。
→ 本部で揃えてもらっても輸送コストがかかるので、現地でレンタルの方がよいだろう。
- ・来年の BF 講演会は弘前。現地実行委員長としては対面だけの方が確かに楽である。しかし、12 月の北国開催なので、来られない人が出たときにはオンラインで発表できる環境があった方がいい。非常対応用ということで 1 セットを準備しておくといいかもしれない。
- ・次回の BE 講演会は慶應大学。ハイブリッドで準備中。

以上の意見交換の結果、提案された「開催形式について BE 講演会はハイブリッドが基本、BF 講演会は現地の事情に応じて対面でも可。開催地はこれまで BE が都市、BF が地方であったものをもう少しフレキシブルに選んでいく」という方針に大きな反対はなかった。

(8) その他

なし

2. 部門関連行事

(1) 第 35 回バイオフィロンティア講演会 [百武 BF35 講演会委員長]

日程：2024 年 12 月 14 日（土），15 日（日）

開催地：横浜国立大学

URL：<https://www.jsme.or.jp/conference/biofrconf24/index.html>

実行委員長：百武 徹（横浜国大）

幹事：白石 俊彦（横浜国大）

百武 BF35 講演会委員長に代わり、藏田 部門幹事より、講演 191 件、参加登録者約 300 名であることが報告された。

(2) バイオフィロンティア・シンポジウム 2024 [須藤 渉外委員長]

日時：2024 年 12 月 14 日（土）16:30-17:30

場所：横浜国立大学 S 室 経済学部講義棟 2 号館 111 室

講演：Prof. Vivek N. Prakash (University of Miami)

須藤 渉外委員長より、準備が順調に進んでおり、Prakash 先生は昨日に来日され、横浜滞在中。シンポジウムの後は講演会の懇親会にも参加して下さることが説明された。

(3) 第 37 回バイオエンジニアリング講演会 [須藤 BE37 講演会委員長]

開催日：2025 年 5 月 24 日（土），25 日（日）

開催地：慶應義塾大学 日吉キャンパス

実行委員長：須藤 亮（慶應大）

幹事：山下 忠紘（慶應大）

準備状況：11 月 27 日に HP 開設：<https://www.jsme.or.jp/conference/bioconf25/index.html>

今後の予定

3 月 28 日頃 演題登録締切

4 月 25 日頃 抄録提出締切

OS について [坂元 企画委員長]

坂元 企画委員長より、日循、臨床バイオとのジョイントセッション、出藍会企画のセッションを含めて 10 件の企画提案があったことが説明された。なお、出藍会企画のセッションは博士学生による申し込みである。本来、BE 講演会において学生はポスター発表という原則でやってきたが、積極的な提案をぜひ形にしたいので、出藍会がメンターのような形で見守ることにし、これら 10 件すべての企画が承認された。

(4) 2025 年度年次大会 [大橋 年次大会 2024 担当]

開催日：2025 年 9 月 7 日（日）-10 日（水）

開催地：北海道大学 札幌キャンパス

URL：<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jsme2025>

講演申込受付開始 2025 年 2 月 3 日（月）

講演申込締切 2025 年 3 月 31 日（月）

発表採択通知 2025 年 6 月 16 日（月）

講演原稿提出締切 2025 年 7 月 25 日（金）

早期事前登録締切 2025 年 8 月 15 日（金）

大橋 年次大会 2024 担当に代わり、藏田 部門幹事より、ホームページが開設され、申し込みのスケジュールが決まったことが報告された。

(5) AP Biomech Conference [石川 部門長]

AP Biomech 2025 の開催地は Auckland, NZ (11 月頃予定)

AP Biomech 2027 の開催地は Bali, Indonesia

11 月中の開催日が決まっているとの情報が寄せられ、石川 部門長が確認することとなった。
→ 次の通り、確認された。

開催日：2025 年 11 月 18 日 (火) ~21 日 (金)

開催地：University of Auckland, Auckland, New Zealand

実行委員長：Prof. Ashvin Thambyah (University of Auckland)

(6) 第 36 回バイオフィロンティア講演会 [藤崎 BF36 講演会委員長]

開催日：2025 年 12 月 6 日 (土) ~7 日 (日)

開催地：弘前大学 文京町地区キャンパス

実行委員長：藤崎 和弘 (弘前大)

藤崎 BF36 講演会委員長より、開催日を 2025 年 12 月 6 日 (土) ~7 日 (日) にするご提案があり、承認された。講演室 6 室を確保済み。バイオフィロンティア・シンポジウムのために 250 ~300 名収容の部屋を 1 つご準備いただく。

(7) 10th World Congress of Biomechanics [大橋 委員]

第 10 回バイオメカニクス世界会議

開催日：2026 年 7 月 11 日 (土) ~15 日 (水)

開催地：Vancouver (Canada)

URL：<https://www.wc-biomechanics.org/congresses>

更新なし。

(8) SJB2027 [中村 副部門長]

7th Switzerland-Japan Workshop on Biomechanics

2027 年予定 (候補 9 月 7~10 日), Riederalp

実行委員長：Bert Muller, Masanori Nakamura

更新なし。

(9) 第 15-18 回出藍セミナーシリーズ [牧 次世代委員長]

第 15 回「オンライン研究室見学」 2024 年 8 月 30 日 (木) 18:00-19:00

第 16 回「論文を読むためのテクニック」 2024 年 10 月 4 日 (金) 18:00-19:00

第 17 回「論文を書くためのテクニック」 2024 年 11 月 25 日 (月) 18:00-19:00

第 18 回「「高専」ってどんなところ？」 2024 年 12 月 12 日 (木) 18:00-19:00

牧 次世代委員長より、4 回にわたって開催された出藍セミナーシリーズについて説明があった。

(10) その他

なし。

3. 共催・協賛・後援行事

(1) 第 89 回日本循環器学会学術集会 共同企画 [須藤 渉外委員長]

開催日：2025 年 3 月 28 日（金）～30 日（日）

開催地：パシフィコ横浜

座長：高嶋一登先生（九工大）

講演者：片岡則之先生（日大）・伊藤一陽先生（農工大）・中村太郎先生（中央大）

(2) ROBOMECH2025 [藏田 部門幹事]

ロボティクス・メカトロニクス講演会 2025

開催日：2025 年 6 月 4 日（水）～6 月 7 日（土）

開催地：山形ビッグウイング，やまぎん県民ホール

URL: <https://robomech.org/2025/>

(3) 2025 ASME SB³C Summer Bioengineering Conference [藏田 部門幹事]

"Advancing Health Equity through Bioengineering"

Date: June 22-25, 2025

Place: Hyatt Regency Tamaya Resort and Spa, Santa Ana Pueblo, New Mexico

URL: <https://event.asme.org/SBC>

(4) その他

玉川先生に代わり，藏田 部門幹事より The 8th International Conference on Advanced Mechatronics (ICAM 2024・第 8 回先端メカトロニクス国際会議)について報告があった。

開催日：2024 年 11 月 6 日（水）～11 月 8（金）

場所：北九州国際会議場

Plenary Talk：1 件

Technical Presentation：135 件（oral のみ）

分野融合研究優秀表彰（連携 OS ごとに表彰）

対象：OS3 Micro-nano and Bio-Robotics（バイオ，マイクロナノ，ロボメカ 3 部門分野融合セッション）

件数：2 件

FA2-2 On-demand perforation using electrically induced microbubble for improvement of needle-free reagent injection volume, Yuudai Aokusa, Yibo Ma and Yoko Yamanishi（バイオエンジニアリング部門）

FA2-4 What is the ideal origami development diagram for cells? — 3D tissues produced by origami and micro/nano technologies —, Kaori Kuribayashi-Shigetomi, Takashi Horiyama and Ryuhei Uehara（マイクロナノ工学部門）

[報告事項]

1. 部門運営関係

(1) 2024 年度決算見込および 2025 年度部門予算案について [石川 部門長] [資料 102-3-07]

JSME 本部より，2025 年度部門予算案の提出依頼があった。11 月 8 日（金）締切。総務委員会より提案された 2024 年度決算見込および 2025 年度部門予算案についてメール審議が行われ，すでに承認されている。その内容について，菅原 総務幹事より次のように報告があった。

- ・2024 年度決算見込みでは，完了した行事にはその見込額が，未完了の行事にはまだ予算額が記入されている状態であるが，36,241,046 円の収入に対して 9,708,100 円の支出であり，26,532,946 円の繰越となる。昨年度と比較して 1,845,810 円の繰越金の増加となった。

・2025年度部門予算案では、コロナ禍前および今年度の実績を考慮した企画行事の金額が計上され、運営費においては電子化による印刷費等の削減を踏まえた金額が計上されている。また、昨年度に続き、外国人講師セミナーの謝金等に活用する「企画渉外費」を組み込んでいる。さらに、今年度に引き続き、次世代戦略委員会の活動費を計上している。なお、昨年度の決算見込みでは、バイオフィロンティア・シンポジウムの外国人講師セミナーの謝金ならびに次世代戦略委員会のセミナー費を一般部門運営費に含めていたが、曾根原さんの助言もあり、より決算に見合うよう、それぞれ国際会議、その他（特別講演会）の支出として記載している。

これに対して、企画・渉外委員会へ予算配分される100万円、次世代委員会へ予算配分される20万円（通常の10万円+合宿サポート10万円）がどこに計上されているのか分からないという質問があり、それぞれ50万円、10万円しか明示されていないことが明らかになった。予算書上の費目の問題であるので不都合はないが、次回からこれらの金額が陽に現れるような書き方に改めることになった。

(2) 分野連携企画について [世良 分野連携委員長]

世良 分野連携委員長に代わり、藏田 部門幹事より、11月29日（金）締切だった分野連携企画に部門から以下を申請したことが報告された。

・日本JSME・韓国KSME ジョイントシンポジウム

JSME側の代表はBE：須藤先生（慶應大）とSHD：松田先生（筑波大）

・日本循環器学会・日本機械学会ジョイントセッション

JSME側の代表は築谷先生（国循）、伊井先生（科学大）、葭仲先生（産総研）

高嶋先生（九工大）、世良先生（理科大）

ナノマイクロとの分野連携は、ナノマイクロ部門（繁富先生）から提出された。

なお、マイクロナノ部門との企画はこれとは別に年次大会の特別行事企画にも申請予定で、こちらはBE部門から提出する。現在、中島先生（熊本大）が講師を選定中（坂元 企画委員長宛、JSME本部締切：3月31日）。

(3) ISO・JIS・学会基準委員会より報告 [葭仲 委員]

[資料 102-3-08]

葭仲委員より、10月29日（火）に開催された第2回ISO・JIS・学会基準委員会について報告があった。特に、①「学会基準テーマ募集」については、なにか標準化の活動をしてJIS規格を策定したいのであれば、機械学会の学会基準テーマに応募していただくと予算がついて進めることができること、②経済産業省産業標準化事業表彰に該当する候補者がいれば推薦していただきたい、他には8月初めに締切の日本機械学会標準事業表彰もあることが説明された。委員会での主な議事は下の通り。

●令和6年度経済産業省産業標準化事業表彰に係る受賞報告

・本委員会から推薦した榊田様が受賞

●JIS原案作成公募(区分A募集中、JIS B 1584-2 他3件)

●本会保有JIS (B 1453:1988, 1454:1988) の移管先へのコンタクト (継続中)

(ISO 関連)

●国内委員会報告

・ISO/TC5/SC10 (管フランジ)

・ISO/TC30 (管路における流量測定)

・ISO/TC108 (機械の振動、衝撃と状態監視)

・ISO/TC108/WG33,34 (機械の振動、衝撃と状態監視)

JIS 5年見直し対応 JIS-B0908 の改定

- ・ ISO/TC108/SC2 (振動・衝撃の測定と評価)
- ・ ISO/TC108/SC2/WG7 (磁気軸受)
- ・ ISO/TC108/SC4 (機械振動・衝撃の人体への影響)
- ・ ISO/TC108/SC5 (機械の状態監視と診断)
- ・ ISO/TC123 (平軸受)

(学会基準関連)

●学会基準テーマ募集 (8/4〆切分応募なし)

●学会基準原案作成委員会報告

- ・ バイオコックス性能規格

前回委員会で企業に偏り過ぎとの意見があり、委員会メンバーの追加の報告があった。

- ・ ハーバート振子硬さ試験方法

(学会基準の中間報告のレビュー) 材力部門の高澤委員に部門にて取りまとめをお願い。

- ・ 熱エネルギー利用の観点における湿り蒸気流量の指示値の補正に関するガイドライン

●令和6年度経済産業省産業標準化事業表彰推薦者候補について 募集中

●ISO・JIS・学会基準委員会 日本機械学会基準に関する内規変更の件

図書室が廃止されたため、絶版にした場合、図書館のコピーサービス対応に切り替える。

●年次大会特別企画について 企画は3月31日締切 (企画を募集します)

●先般開催の委員会にてご依頼を致しました標記調査シートも添付させていただきます。

候補に相応しい方がいらっしゃいましたら、わかる範囲で結構ですので調査シートに記載の上、2025年1月20日(月)までに事務局(noguchi@jsme.or.jp)宛にお送りください。

(4) その他

なし。

2. 部門関連行事

(1) 講習会関係 [藏田 部門幹事]

(i) 筋骨格モデルによるバイオメカニクス解析入門 (倉元 委員)

開催日時：12月5日(木)、6日(金) 10:00~17:00

開催形態：オンライン開催 (Zoom ミーティングを利用)

URL：https://www.jsme.or.jp/event/24-131/

中心メンバー：倉元先生、坂本二郎先生、田原先生、茅原先生、中島求先生 (SHD 部門)

倉元 委員より12月5~6日に開催された講習会について報告があった。30名満席。参加者は学生(JSME以外の共催学会)や企業からで、リピーターがいないので、もう一度参加したくなるような企画を考えていきたい。

→JSME本部ではオンデマンドの講習会をアーカイブ化することを考えているという情報が寄せられた。

→本講習会では、基礎的なこと以外に、事例紹介や講師とのやり取りを重視しているので対面の意味がある。

(2) その他

3. 各種委員会等活動報告

(1) 企画委員会 [坂元 企画委員長]

坂元 企画委員長より、前回のBE講演会を踏襲して、明日からのBF講演会でも企業ブース、リクルートの企画を設けており、この企画を定着させたいので、学生へ積極的な参加を呼びかけていただきたい旨の説明があった。

中村 副部門長より、「企業では12月頃に来年度予算を作るので、このときに計上されていないと企業ブースなどの企画に参加することが難しい。いまの時期に企業にアナウンスしておく必要がある」という情報提供があった。

→意見交換の後、この企画を継続的に実施することに合意が得られた。現地実行委員会から企業へ個別に依頼するのではなく、部門で一括して情報を出すのがよい。夏頃（年次大会の運営委員会）、次年度開催されるBF・BE講演会の時期と場所、それぞれの講演会の趣旨を趣意書の形でまとめ、部門長と渉外委員長の連名で企業へお送りする。来年度（BE慶應大、BF弘前大）についてはこの冬のうちに対応する必要あり。

(2) 総務委員会 [東藤 総務委員長]

(3) 広報委員会 [佐藤 広報委員長]

(4) 渉外委員会 [須藤 渉外委員長]

(5) 若手による次世代戦略委員会 [牧 次世代委員長]

①BF講演会の2日目（12月15日）に出藍会企画を実施する。クイズ形式の催しなので、学生の積極的な参加をお願いしたい。

②来年度、合宿形式の若手の会を実施する。

③次世代の活動を盛り上げるために新しいメンバーを募集しているので、候補者がいれば次世代委員会へお知らせいただきたい。

(6) JBSE 編集委員会 [石川 国際ジャーナル委員長]

[その他]

第102期運営委員会開催予定について [藏田 部門幹事]

第1回 幹事会 5月7日（火）18:00～20:00 Web会議
運営委員会 5月10日（金）15:00～17:00 名古屋工業大学（BE36前日）

第2回 幹事会 8月29日（木）13:30～15:30 Web会議
運営委員会 9月8日（日）12:30～14:30 愛媛大学（年次大会）

第3回 幹事会 12月9日（月）11:00～13:00 Web会議
運営委員会 12月13日（金）16:00～18:00
アットビジネスセンター横浜西口駅前（BF35前日）

第4回 第102期・103期合同拡大幹事会
2025年3月27日（木）13:00～15:00
KDX 飯田橋スクエア JSME 事務局 第三会議室
（合同拡大幹事会の参加対象者は新旧の委員長、幹事、三役）

以上